

令和6年度 第9回 政策調整会議 会議録

◆開催日時：令和7年2月5日（水） 9：58～10：18

◆開催場所：第1委員会室

◆出席委員：波積副市長、岸副市長、大下教育長、西川総合政策部長、谷口総務部長、
寺本財務部長

◆説明者：西田庁舎建設準備課長、上田参事、成子参事

◆審議事項

岸和田市新庁舎整備基本計画（令和7年度版）の策定について・・・・・庁舎建設準備課⇒承認

◆審議概要

◎付議依頼書等に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈波積副市長〉一番優先順位が高いのは、1日でも早く新庁舎を建設すること。それを前提に地元と調整を進めてほしい。

財源についても、緊防債だけでなく、それ以外にも有利な財源があれば、それを使って所要額を低減させるという形で、努力をし、工夫をして進めてほしい。

〈岸副市長〉庁内の検討委員会でも話したが、当初からかなり工程が遅れている。部長、課長だけでなく若い職員にも、庁舎を建てるという機運を高めてほしい。

〈教育長〉国ではデフレの脱却や金利の引上げ等、一部インフレを誘うような政策が取られている。また、所得拡大に向けた賃上げも行われている中で、物価上昇というのはもう避けられない状況になっている。この庁舎の計画の中でも資金計画について触れているが、上振れがあるということを常に議会や市民に、繰り返し説明しながら進めていくことが大事ではないかと思う。

今の庁舎は本当にセキュリティが悪く、市民の利便性が低いということを痛感している。これから設計の段階で具体化していくことになると思うが、セキュリティについては十分に記載されている。不用意に知らない人が執務スペースに入ってこない、情報を盗み見しないという点に関しては配慮されているので、具体化もその方向でお願いしたい。

併せて教育委員会では、来客があった際に廊下の長椅子が置いてある暗い場所で接客することがある。設計の段階ではその辺にも留意して、窓口での接遇だけではなく、じっくり話を聞けるような場所の必要性についても考えていただきたい。

〈財務部長〉教育長もおっしゃっていたが、費用面では、おそらくここに記載されている金額では収まらないことは誰もが考えたと予想できる。庁内の検討委員会においても質問したが、前回聞いていたよりも増額した部分については、防災用も兼ねた緑地であるとか、駐輪場を建物の中に取り込んだというところで、まさに防災の強化のための費用増と理解している。説明の中にもあったように、期限付である緊防債を全面的に出す

というのはなかなか難しいことではあるものの、おそらく継続が予想でき、継続された場合は費用増が緊防債で対応できるので、いたずらに市の負担が増えるということではないと理解している。費用増がそのまま市の負担になるのではないということも一定PRしておく必要がある、というふうに思っている。

新しい庁舎を建てるということはやはり、人命に関わるものであるということが最も重要なポイントだと思っている。この先インフレ傾向が続くと、おそらく金利の上昇もトレンドとして続いていくというふうに考えている。そうなると、人件費や材料費に加えて金利上昇も負担になってくる。人命を大事にするということが最も重要であるけれども、副次的に、早く進めないと費用負担ももっと重くなるということを、市民の方、あるいは議会に対してしっかりご理解いただくことも必要だと思う。

〈総合政策部長〉 内容について原案のとおり、政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり、政策決定会議に付議する。